



稽古コツコツ
輝く篠笛奏者へ

ヌマタ・アート・アンバサダー
篠笛・能管奏者
富澤優夏さん
—高橋場町—

小学1年生からお囃子を習い、大人になってからも毎年、沼田まつりに参加しています。さまざまな曲目に挑戦し、たたけるようになるうれしさはひとしおでした。まんどに乗って引かれ、高いところから歩く人を見渡すときは、いくつになっても優雅な気持ちになります。法被をはおると気分が上がり、祭りが終わると毎回名残惜しくなるほどです。

これまでの稽古と磨き上げたスキルを生かして、現在は篠笛・能管奏者として活動し、さんてこ囃子の笛の指導もしています。お囃子は私の原点。育った町に恩返しできることがうれしいです。

4年ぶりお囃子稽古
楽しい交流 初参加も

高橋場町祭り囃子保存会
会長 高羽伸夫さん
—高橋場町—

高橋場町のお囃子の練習は4月～6月は週に1回、7月中旬以降は毎日、主に北小学校区の小中学生約30人が励んでいます。締太鼓から始め、中学年から高学年で鉦や大太鼓、小学6年生以降は笛も練習するようになります。祭りが3年間中止となり、練習の機会がなかったことから、初めてお囃子に挑戦する子がたくさんいます。周りの動きを見ながら繰り返し練習することで、短期間で覚えている様子です。

お囃子で育った子たちが現在は若手の指導者になり、小中学生と楽しく交流をしています。継承につながっていることがありがたいです。



お母さんの勧めで、今年初めて参加。みんなの動きをまねて練習に励んでいるよ

吉岡暁斗くん
沼田北小3年

